

親と子の教育相談 No. 5

問い合わせ / 寄居町教育委員会 指導班

教育サポートセンター (☎ 581-9993 直通)

相談 鬼ごっこで毎回鬼をやらされてしまいます。

小3男子の母親です。休み時間の鬼ごっこで、うちの子がいつも鬼にされてしまいます。みんながそろって毎回うちの子をつかまえたり、つかまる前にリーダー格の強い子が「〇が鬼だ！逃げろー！」と合図をし、みんなが一斉に逃げてしまったりするようです。最初は仕方なく鬼をやっていたのですが最近休み時間の鬼ごっこに入らず「休み時間が嫌だ」と言うようになりました。このまま続くと思うと子どもが不びんです。



〔母親Hさん〕

助言 担任からお友だちに、行動を指導してもらいましょう。

毎回鬼にされては遊んでいてもつまらないし、みんなが示し合わせて自分を鬼にしているという疎外感で、休み時間が嫌になってしまったのですね。リーダー格の子が主導しているようですが、みんなには「いじめている」という意識はなく、お子さんをからかいのターゲットにして面白がっているようです。中・高学年になると、誰かをターゲットにしてからかったり仲間外れにすることも時々見られます。放置すれば「いじめ」に発展しかねない場合もあります。



「子ども同士でのトラブルは子ども同士で解決を」という考え方もありますが、ターゲットにされたお子さんが一人で傷ついたり悩んだりする可能性も大きいですから、自然な解決を待つだけでなく、時には大人の介入も必要です。学校での事ですから、ぜひ担任の先生にご相談なさることをお勧めします。

いじわるをしている子に「いじめをされた人の気持ちを考えて、自分がされたらどう思うか。」を考えさせ、反省できれば、いじめた子にとっても本当のリーダーに成長する機会です。先方の親御さんへも担任の先生から知らせていただき“一緒に成長を見守る”という対応ができるとういことです。

お子さんは「困った時は大人に助けを求めていいんだ。」と大人への信頼感が得られ、それを繰り返してやがて「自分で解決する力」が身に付いてくるのです。担任の先生や双方の保護者など、周囲の大人が力を貸して、お子さんたちの成長を見守っていききたいものです。

〔担当 富田〕